

第 30 回 岐阜大学フォーラム

「地震列島の宿命」

講師：NPO 法人防災情報機構会長
元NHK解説委員
伊藤和明氏

とき：6月1日(水)16:00-17:15

ところ：岐阜大学講堂

海溝型の超巨大地震であった「東北地方太平洋沖地震」は、3つの巨大地震が北から南へと連動して発生したもので、海底の断層破壊は、南北500km、東西200kmにも及んだ。一方、南海トラフでは、東海・東南海・南海の震源域が、ほぼ同時に活動して起きる3連動地震の発生が、次第に現実味を帯びつつある。そのときは、海底の断層破壊が500km以上に及び、甚大な震害・津波災害がもたらされることは疑いない。

地震列島に居を定めている以上、私たちは地震と共生して住みつづけねばならないという宿命を背負わされている。この国土で、人びとの居住する環境は、きわめて多様である。過密都市の一角に住む人もあれば、深い山あいに住む人もいる。人それぞれ、どのような環境に住みついているかによって、地震のさい、どのような災害に遭いやすいかが異なるのは当然である。そうしたいわば「災害環境」を、地区ごとに把握しておくことが、災害を軽減するための第一歩なのではないだろうか。

Forum @ Gifu-U.